

|         |  |
|---------|--|
| 法人の理念   | 私たちは思いやりと優しさで子どもたちとその保護者に寄り添います<br>私たちは意欲を持って自分自身の為に歩みます   |
| 教育・保育理念 | 生きる力・強い心を持つ子どもを地域と共に育てる  |
| 教育・保育目標 | <p>「丈夫な子ども」<br/>☆よく食べ・よく遊び・よく寝る子（早寝・早起き・朝ごはん）生活リズムを整え規則正しい生活ができる。</p> <p>「明るい子ども」<br/>☆誰とでも仲良く遊び、友達関係を大切にする。</p> <p>「元気な子ども」<br/>☆健康・安全に気をつけて自己管理や危険察知ができるように戸外で元気に遊ぶ。</p> <p>「考える子ども」<br/>☆元気に挨拶ができ、感謝の気持ちが持てる。</p> |

|      |             |             |
|------|-------------|-------------|
| 自己評価 | A: 十分達成している | B: ほぼ達成している |
|      | C: 一部検討が必要  | D: 改善が必要    |

1. 理念・計画等について

|   | 内容   | 結果 | 意見・改善  |
|---|--|----|--|
| 1 | 園の理念や教育・保育方針・目標を理解している                         | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>十分に理解し、活発的な地域資源の活用から子ども達の興味・関心を引き出せたと思う。自然も地域交流を深め活動を取り組んでいきたい。</li> <li>年度初めの研修で確認したり、自身の保育に悩んだ時は園の理念や目標に立ち返って考えるようにしている。</li> </ul>                                     |
| 2 | 全体的な計画に基づき子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して年間計画・月案・週案を立てている | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の発達や興味を理解し、もっと子ども達の興味・関心を深め、広げていけるような計画を作成したい。</li> <li>指導計画を見直し、2週案に変更したことで、子どもの姿が捉えやすくなり反省等が指導計画に活かせていると感じた。</li> <li>新週案で子どもの姿を受け止めながら計画することで、遊びが充実していた</li> </ul> |
| 3 | 指導計画の評価・見直しを行い、その結果を次の指導計画に反映させている             | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>リーダー会やクラス会議などにより、評価、見直しが行われている。</li> <li>月や週の反省をしっかりと行い、次月や次週の指導計画に反映している。</li> <li>指導案の作成に時間を要し、指導案の提出や見直しが遅れることもある。計画や見直しが反映できるよう時間の確保が課題である。</li> </ul>                |

2. 教育・保育について

|   | 内容                             | 結果 | 意見・改善  |
|---|--------------------------------|----|--|
| 1 | 子ども一人一人の理解を深め受容しようと努めている       | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>保育において子ども理解に努め、その場の姿のみならず、子どもの思いに寄り添い背景にも目を向けるよう意識している。</li> <li>個々の発達や性格などを見極め、子ども一人一人と丁寧に関わるよう努めた</li> </ul>                            |
| 2 | 子どもの姿を見取り、興味・関心に応じた教育・保育を行っている | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの姿から今どんなことに興味・関心があるか読み取り、それに基づいた活動や環境構成を心がけた。</li> <li>子ども達のやりたい遊びを実践できた。</li> <li>興味・関心に気付き遊びを提供することができている。行事等でできないこともあった。</li> </ul> |

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 3 | 子どもの発達や成長につながるよう環境構成や援助の工夫をしている           | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任同士で思いや考えを出し合い、環境や遊びを通して5領域を踏まえた成長に繋がるよう工夫した。</li> <li>・子ども理解に工夫がいっぱいの1年であったと思う。しかし、全職員への共有が難しいと感じた。次年度は環境構成の知識を深め、更に積極的に取り組んでいきたいと思う。</li> </ul> |
| 4 | 同僚性を発揮し、教育・保育のねらいや育てたい力を話し合い、実践している       | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週、リーダー会でクラスの情報を話し合っている。また、様々な意見が出ることで職員の質の向上にもつながっている。</li> <li>・クラス担任での連携や年長クラス同士の連携が難しく感じた。報告や確認など、コミュニケーションの仕組みを改善していきたい。</li> </ul>           |
| 5 | 子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てている               | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に気持ちがあるように友達にも考えや思いがあることを伝え、自分の気持ちも大切に思えるような保育を心がけた。</li> <li>・配慮して接しているつもりだが不十分なところもあると思う。子どもの人権について学び続けたい。</li> </ul>                          |
| 6 | 不適切な保育とならないよう、日々の関わりを振り返りながら教育・保育に取り組んでいる | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>・名前を「さん」づけを意識した。声かけや対応にゆとりを持てるよう、意識して努めた。</li> <li>・職員間で日々振り返りを行ったり、職員同士で気付いたことはその場で伝え合うようにしている。</li> </ul>   |

### 3. 行事について

|   | 内容                              | 結果 | 意見・改善   |
|---|---------------------------------|----|---|
| 1 | 行事のねらいを定め、ねらいが達成できるように計画・実践している | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の集団能力の育ちを目指すなどねらいを定め、計画・実践することで仲間関係が深まり、遊びの充実へとつながっている。</li> <li>・担当者に任せきりでねらいの共有が十分でなかったように感じる。</li> <li>・ねらい、計画を立てるがうまく実践できていない面もあるため、前もって計画を立て実践できるように努めたい。</li> </ul> |
| 2 | 行事の種類や実施回数は適切である                | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな行事の実施回数は適切だと思うが、細かい行事が年長児は多く感じる。年中児や年少児が参加する行事もあってよいと思った。</li> <li>・今年度は運動会と発表会の期間が短く、その間に個人面談などがあり厳しい状況となった。次年度は検討が必要。</li> </ul>   |
| 3 | 計画・実施・評価・改善（PDCA）の体制をとっている      | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事後は担当だけでなく他の職員にも意見を聞き、改善に向けてしっかり体制が整っている。</li> <li>・計画から評価・改善まで時間を要することがあった。期間を開けず、すぐに行うようにする。</li> </ul>  |

### 4. 食育・健康・安全について

|   | 内容   | 結果 | 意見・改善  |
|---|--|----|--|
| 1 | 食育を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している         | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食で使われる食材の展示や調理員とのやりとり、栽培活動を通して食に興味を持てるよう心がけている。</li> <li>・子ども達が食に興味を持てるよう食育活動にもう少し取り組みたかった（クッキングや栽培、農家さんの見学）</li> </ul>                           |
| 2 | 調理員・保育教諭が連携し、意見を交わしながら楽しく食べる環境づくりに努めている    | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事やおやつ、子ども達の喫食状況は常に調理員に伝え、給食会議（月1回）意見交換をして改善に努めている。</li> <li>・給食会議では、お楽しみプレートの内容や行事食、また、普段は食べることの少ない黄色い西瓜の提供など楽しく食べるアイデアを話し合っている。</li> </ul>       |
| 3 | 食物アレルギー児への対応として配膳の際の声出し確認や食器の工夫等に十分に配慮している | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・皿の色分けや除去食記入の工夫を行う。アレルギー食を他の食事と分けて受け取る方法に変えたことで、落ち着いた状況の中でアレルギー食の確認ができています。</li> <li>・土曜日の合同保育の際には、アレルギー食について調理員と一緒に声出し確認するなど積極的に確認を行った。</li> </ul> |

|   |                                      |   |   |
|---|--------------------------------------|---|---|
| 4 | 避難訓練・交通安全指導・不審者対応訓練を計画に基づいて適切に実施している | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づいて実施し、クラス担任からも評価や改善に向けて意見を求めている。今後も実施に役立つ内容の検討を行う。</li> <li>・子ども達が訓練に慣れてしまっていることが感じられる。視聴覚教材も使用しながら訓練の工夫が必要である。</li> </ul> |
| 5 | 健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいる      | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝・早起き・朝ごはんや長期休暇の過ごし方、感染症予防など集会や視聴覚教材を使用して分かりやすく伝えている。</li> <li>・視聴覚教材を使って集会で伝えているが、なかなか定着できない。声かけや環境の工夫が必要と感じる。</li> </ul>     |

## 5. 特別支援教育

|   | 内容   | 結果 | 意見・改善  |
|---|--|----|--|
| 1 | 特別支援教育担当者を決め、家庭・地域社会・関係機関との連携を図っている        | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各担任や保護者としっかり連携を取り、関係機関との会議や必要な連携を図っている。</li> <li>・クラス担任や、保護者、関係機関との連携を常に取り、その子に合った支援体制を整えて援助することができていた。</li> </ul>   |
| 2 | 配慮の必要な子にはその子に応じた個別指導計画や支援計画を作成している         | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導計画作成により、課題や手だてが分かりやすくなり保育に反映できている。</li> <li>・担当者だけが個別指導計画を作成するのではなく担任同士で話し合いながら作成出来たら良かった。</li> <li>・支援計画や指導計画をしっかり行っているが、作成に時間を要するため書類作成の時間確保が必要である。</li> </ul> |
| 3 | 日々の保育や園内研修等で配慮を要する子への対応などの共有、連絡事項の確認を行っている | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員と情報共有や支援の仕方等の確認を行っている。</li> <li>・クラス間ではできているが園全体で配慮を要する子への対応の共有はできていないと思う。2学期から取り入れたリーダー会で保育の反省を行い、少しずつ共有できるようになっている。</li> <li>・障害児保育について学びたい。</li> </ul>        |

## 6. 組織運営

|   | 内容  | 結果 | 意見・改善  |
|---|---|----|--|
| 1 | 研修等に積極的に参加し個々の資質向上に努めている                              | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの職員が研修を受けやすい勤務体制が整っているので、受講しやすく質の向上につながっている。</li> <li>・研修に参加できる環境にとっても感謝している。参加したい研修を自ら選べるよう研修要項を置くことも良いと思う。</li> <li>・周りの職員の成長に嬉しく思うが、自身のスキルが止まったままでは？と感じることがある。次年度は積極的に受講したい。</li> </ul> |
| 2 | 職員の仕事や役割が明確であり、職員間で「報告・相談・連絡・確認」の連携ができていく             | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のミーティングや会議を通して連絡や報告などの場を設けているが全職員への周知が十分でない。会議の持ち方を工夫し連携が取れるよう工夫していきたい。</li> <li>・担任3人体制に難しさがあり伝わっていないこともあった。クラス会議の時間を設けたことでうまく連携が取れている。</li> <li>・担任同士が遠慮して思っていることを言えない状況がある。</li> </ul>     |
| 3 | 危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整っている                           | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修を通して緊急時の対応について全職員で共有している。</li> <li>・毎月の避難訓練も担当交代制にしたことで、職員一人一人の緊急時の対応力の向上になっていると思う。</li> </ul>   |
| 4 | 各種文書や個人情報（パソコン、USBを含む）を適切に管理し守秘義務を厳守、情報の取り扱いを周知徹底している | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報管理や取扱いについて年度初めやその都度、周知徹底している。</li> <li>・情報の取り扱いには十分に気をつけ、職員で園内だけで共有している。</li> <li>・園内で撮影した写真や動画について SNS 等へ掲載しないよう、園内へ掲示を行っている。</li> </ul>  |

## 7. 施設・設備

|   | 内容                             | 結果 | 意見・改善  |
|---|--------------------------------|----|--|
| 1 | 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている         | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、担当職員が安全点検を行い危険箇所や修繕が必要な箇所は用務員や業者と連携を取り修繕している。</li> <li>定期的な安全点検や日々の活動の際にも気づきがあれば報告している。</li> </ul>                           |
| 2 | 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管している      | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや職員が使用しやすいように定期的に整理整頓を行い保管している</li> <li>各クラス様々な絵表示などがあり誰でも分かりやすい。</li> <li>子ども達が使いやすい道具の配置の工夫や保管を行い必要に応じて改善をしている。</li> </ul> |
| 3 | 災害や不審者に対応する周回な配慮を行っている         | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ねらい、様々な場面での訓練が計画され実施している。</li> <li>不審者訓練は年に1度しか行ってないので2回に増やし、防犯意識の向上を図りたい。</li> </ul>   |
| 4 | 掲示板やICT（コドモン）等を適切、かつ効果的に活用している | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>掲示板やコドモンなど保護者への情報発信をうまく活用している。</li> <li>毎日のドキュメンテーションや保護者とのお便りのやりとりなどICTを効果的に活用している。</li> </ul>                                 |

## 8. 地域・小学校との連携

|   | 内容   | 結果 | 意見・改善   |
|---|--|----|---|
| 1 | 他施設等の幼児や児童生徒と触れ合う中で幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っている | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹園や近隣の保育施設との交流を行った。5歳児だけでなく、3、4歳児も他施設と交流が持てるよう計画していきたい。</li> <li>小学校連携や他園との交流計画等多くの交流を設けることができた。交流を通し、新たな刺激や他者への思いやり、憧れへとつながる姿があった。</li> <li>小学校の「こども園クラブ」に5歳児クラスが参加している。</li> <li>学童クラブと交流を行っている。</li> </ul> |
| 2 | 地域の小学校との交流や連携を積極的に進めている                                    | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用や体験活動を通し、交流を図っている。今年は職員同士の連絡会も盛んに行われ、情報共有に繋がっている。小学校職員や地域向けの保育参観も増やしても良いと思う。</li> <li>毎月1回、小学校へ絵本の読み聞かせを行い交流を図っている。</li> </ul>   |
| 3 | 地域の行事や活動に参加し、地域の文化や生活を身近に感じられる教育・保育を行っている                  | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>散歩や行事を通して地域との触れ合いを積極的に行っている。今年度は十五夜祝いやJAまつりなど地域の行事へ参加が叶わなかったのが残念である。園の行事を通して、地域との交流（エイサー・書初め・けん玉等）を持つことができた。</li> <li>小学校の運動会に5歳児が参加できるプログラムがあり良かった。</li> </ul>  |
| 4 | 地域の子育て支援機関と情報共有しながら連携を図っている                                | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>勝連図書館を有効活用し、絵本の貸し出しや読み聞かせの実施も行われた。今後も継続したい。</li> <li>今年は姉妹園との交流を含めたりトミック開催などを行うなど交流の機会を設け情報共有を行った。</li> <li>自園で行っている子育て支援を発信するだけでなく他の子育て支援機関の情報も聞き連携を深めたい。</li> </ul>  |

## 9. 保護者支援

|   | 内容  | 結果 | 意見・改善策   |
|---|---|----|--|
| 1 | 朝・夕の送迎時に子どもの様子を伝え合うよう努めている                | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>遊びや友達との関わりを具体的に伝えるようにし、家庭での様子も聞いている。</li> <li>なるべく担任が様子を伝え合うようにしている。体調面など保護者に伝えることがある場合、担任が不在の時は遅番の保育教諭に伝言をしている。</li> </ul> |
| 2 | 参観日や懇談会等を通じて保護者と子どもの様子について話したり、情報共有に努めている | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人面談以外にも必要に応じて保護者とゆっくり話す機会を設け、情報共有に努めている。</li> <li>個人面談の後も経過を共有し、子の育ちに繋がるよう情報交換を行いながら保護者との信頼関係の構築に努めた。</li> </ul>           |
| 3 | 園での子ども達の教育・保育活動や子どもの姿がわかるような発信をしている       | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT コドモンでドキュメンテーション配信やお便りを通して子どもの成長や興味・関心、活動の様子を配信している。</li> <li>写真は全員入れるよう配慮したが、個別でも送れるようにしたい。</li> </ul>                  |

## 10. 子育て支援

|   | 内容   | 結果 | 意見・改善策   |
|---|--|----|--|
| 1 | 園庭開放や子育て相談等、地域の親子が安心して遊べる場の提供を行っている          | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>支援ルームなどの固定した部屋はないが、園庭開放や図書館、クラスの協力体制による場所の提供など、園児との交流を行いながら楽しく過ごすことができるよう環境の工夫を行っている。</li> <li>誕生会や季節の行事への参加等、子育て支援の活動も充実している。</li> <li>園庭開放や子育て相談などホームページやお便りなどで発信しているが、利用するまで至っていない。地域に合わせたアプローチの仕方を皆で考えていきたい。</li> </ul> |
| 2 | 地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている                | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>公園へ出かけたり、お茶会等を計画し、親同士の交流の場となるよう努めている。</li> <li>様々なイベントを行う事で利用者が増えた。また、子育て支援を利用することで、保護者同士が話し合う場ができていと感じた。</li> </ul>  |
| 3 | 医療機関や包括支援センター等の専門機関と連携を図り利用者にとって必要な情報を提供している | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の相談内容に応じて必要な情報提供を行っている。また、玄関にて各機関のパンフレットも設置している。</li> <li>近隣施設への子育て支援便り掲載依頼など、子育て支援の活動を伝え、情報交換を行っている。今後は専門機関との連携を深めていきたい。</li> </ul>   |

## 11. 情報の発信

|   | 内容  | 結果 | 意見・改善   |
|---|---|----|---|
| 1 | 園だよりやクラスだより、ドキュメンテーション、ホームページ等で施設の情報を発信している | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の活動の様子をコドモンで配信出来ている。</li> <li>給食のレシピや誕生会、地域交流の動画を公開しており、保護者も喜んでた。</li> <li>ホームページの活用がうまくできていないため、園の情報を発信できるようにしたい。</li> </ul>                  |
| 2 | 行事や子育て支援事業等を地域の自治会や児童施設、小学校に周知している          | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校内の掲示板を活用し、こども園の情報を発信している。行事の周知がうまくできていないため、今後は更に周知できるようにしたい。</li> <li>今年度は小学校との連携を密にできている分、周知出来ている。子育て支援事業は人数が少ないこともあり、もっと周知できればと思う。</li> </ul> |

## 12. 外部評価

|   | 内容                              | 結果 | 意見・改善  |
|---|---------------------------------|----|--|
| 1 | 施設関係者評価や第三者評価を導入し、施設運営に反映している   | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートや施設評価を通して施設運営の改善に努めている。</li> <li>第三者評価を実施することで、客観的に園を見直し、良い点や改善点に気づくことができる。</li> </ul>  |
| 2 | 地域資源を教育・保育に活かし、子どもの学びや育ちにつなげている | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域探検や職場訪問、地域人材の導入等、地域とつながった1年だったと思う。地域とつながることが園を知ってもらうための手段として今後も交流を深めたい。</li> <li>保護者や地域の方に来園してもらい子ども達も様々な経験ができた。しかし、もっと自然や施設等も活用し子ども達に多様な経験ができるようにしたい。</li> </ul> |

### ◎成果

- 子ども一人ひとりに寄り添った関わりや、子ども主体の遊びを大切にしたい保育を意識して取り組み、子ども達が自らやりたい遊びを選び、主体的に関わる姿が見られるようになった。
- 問いかけを意識した関わりや、先輩保育士から学びながらトラブル時の対応力を高めている。
- 地域交流ではうま市福祉まつりへの参加や民生委員とのムービー作り、保護者によるエイサーや書道の披露などを通して、地域の方々との交流を楽しみながら、地域への親しみや関心を深めることができた。
- 保幼小連携においては保育参観を実施し、近隣の幼児教育施設や小学校職員が参観に参加した。相互に保育・授業を参観することで、学びの育ちのつながりを確認しながら、架け橋カリキュラムの作成に取り組んでいる。
- 「言葉」については今年度の重点目標に置き、丁寧な言葉使いと肯定的な表現を意識した。今後も子どもに安心感を与えられる声かけや関わりを大切にしていこう。

### ◎課題・今後の取り組み

- 複数担任における情報共有や連携については課題があり、共有方法の工夫や意見を伝えやすい関係作りが必要である。その中でも、気になる事をすぐに相談できる環境があることは強みであり、今後更に活かしていく。
- 他施設との連携では5歳児のみならず、3・4歳児クラスも交流計画をしていく。
- 教育・保育面では年長児の発達に応じた環境構成に難しさを感じており、限られた空間の中でも子どもが主体的に活動できる環境づくりを工夫していきたい。
- 行事の時期や計画的な進行の見直し、書類業務についても改善が必要と感じた。職員が子ども達と関わる時間をより大切にできるよう、次年度は書類やICTの活用など、業務効率化に取り組んでいく。
- ホームページを活用した情報発信を強化し、園の活動内容がより伝わる内容作りに取り組む。
- 年齢に応じた園内外の環境構成の工夫や計画的な業務遂行力を高めるとともに、特別支援教育、配慮を要する子への対応について共有と理解を深め、一人ひとりに応じた支援ができるよう学びを深めたい。
- 次年度は園全体の保育・教育の質向上を目的として、福祉サービス第三者評価の受審を予定している。職員一人一人が日々の実践を振り返り、園の良さを更に伸ばしながらより良い教育・保育環境づくりに努めていく。